



## ネイチャーポジティブの達成に向けた学校現場での生物学教育の実践および山陰地域の生物多様性調査

教育学研究科 講師 高屋 浩介

高屋研究室ではフィールドワークをベースにした生物学教育を実践しています。持続可能な社会やネイチャーポジティブの実現のためには、社会の変革が必要です。本研究室では、生物多様性の保全の重要性を地域の子どもたちに伝えるだけでなく、指導者としてネイチャーポジティブの実現に寄与できる学生を育成しています。

また、山陰地域の生物多様性を評価するため、松江や三瓶地域にカメラトラップを設置し、野生動物の生態学的研究も行っています。特に、ツキノワグマやニホンジカ、イノシシなどの個体数の増加が問題になっている哺乳類の調査研究を実施しています。山陰地域は人口減少が課題になっており、今後、人と野生動物の軋轢がさらに大きくなると予想されます。そして、同様の状況は日本各地で生じることが想定されます。そのため、本研究室で得られた知見を他地域でも応用できるように、研究や教育だけでなく、成果の普及啓発活動にも力を入れています。

